

# 市民の安全・安心の拠点 防災あんしんセンター完成

淡路市役所の北側に市民交流センターが完成し、2月18日、竣工式典を開催しました。市民交流センターの愛称は「淡路市防災あんしんセンター」。災害時での活用はもちろ

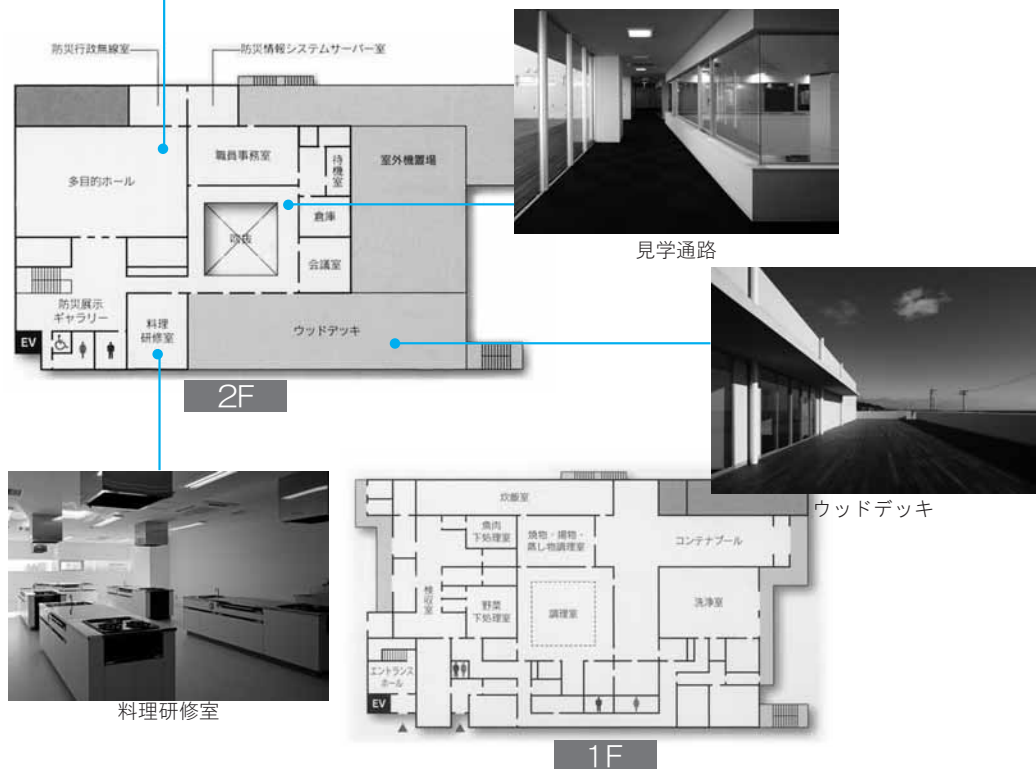
淡路市においては、阪神・淡路大震災や台風による風水害等、これまで様々な災害に見舞われたことから、その教訓を活かし、市民の生命と財産を守るため、防災の拠点が求められていました。新しく完成した防災あんしんセンターは、鉄筋コンクリート造2階建て、延べ面積3673.41㎡で、市役所北側に建設しました。

1階は配食センターとして、有事の時に市民の食事を確保するための炊き出し設備を完備し、常時には、市内小・中学校等の給食センターとして有効活用します。また2階は、防災センターとしての防災設備を備え、災害時には、災害対策本部として活用することももちろん、常時は、災害に備えて研修できる設備を整備しています。

工事総額は約1億6278万円です。竣工式では、センター玄関前でテープカットが行われ、門市長が「防災面だけでなく、防犯、環境保全、子育て、就労、健康、食生活等における安全・安心を確保し、地域づくりに向けた危機管



力強く太鼓をたたく子どもたち



理体制の確立や防災思想の普及啓発、市民への防災研修などに役立てたい」とあいさつしました。

また、多目的ホールで行われた式典の前には、生穂小学校6年生20名が「祝太鼓」を披露し、一緒に完成を祝いました。

防災あんしんセンター周辺は、防災救援拠点地区として、災害発生時には避難所やヘリポートとして利用できる「交流広場」を整備しています。



**向内良夫** 淡路市消防団長  
「新たに防災の拠点が完成し、危機管理能力が向上した。災害は起きないに越したことはないが、有事の際には、必ず活躍してくれる。有効に使いたい」



佐野小学校2年の**福條武琉くん**、**奥井彩乃さん**「配食センターには、大きくていっぱい機械があったので、びっくりしました。たくさんの方ががんばってつくってくれますので、給食は残さず食べるようにしています」



「大きななべ!! お風呂みたい」  
佐野小1・2年生、生穂小3・4年生が完成前に見学に訪れました。

